

**【授業の到達目標および概要】**

アレルギーを含め、免疫系の障害により多くの疾病が引き起こされる。また免疫系は、食品など多くの環境要因によって変化をうける。この授業では、全身免疫および粘膜局所免疫の成立や免疫機能測定法、アレルギー疾患との関連性、ストレスと免疫、免疫系の日内変動について理解し、免疫とその関連分野の研究事例を調べて理解するとともに予定研究テーマとの関連についても調査理解できることを到達目標とする。

**【授業計画】**

- ①② 免疫の基礎ーからだを護る免疫のしくみ
- ③④ 免疫系のサーカディアンリズム
- ⑤⑥ ストレスと免疫ー神経・内分泌系と免疫系の相互作用
- ⑦⑧ 粘膜局所免疫ー細菌などの侵入に対する予防装置
- ⑨⑩ アレルギーー免疫学的機序による組織障害
- ⑪⑫ 食と免疫ーサプリメントの利用
- ⑬～⑮ まとめ

**【授業外学習】**

積極的な授業参加に向けて、履修者が予定している研究テーマと本特論との接点について文献検索し、事前に読んでおくこと。

**【成績評価の方法・基準】**

平常点および講義内容の討論への参加により評価する。

**【教科書】**

随時プリントを配布する。

**【参考書】**

「新版微生物と免疫」(林 修編著、建帛社)、「栄養科学イラストレイテッド 生化学 改訂第2版」(園田 勝編、羊土社)、「時間生物学事典」(石田直理雄・本間研一編、朝倉書店)、「ストレスの事典」(河野友信・石川俊男編、朝倉書店)、「免疫と栄養」(横越英彦編、幸書房)

**【教材】**

PCプロジェクター講義用パワーポイントスライド

**【備考】**

特記なし